

「平成21年度独立行政法人医薬品医療機器総合機構契約監視委員会 (第1回)」の議事概要

I 日 時

平成22年1月26日(火) 15:00～17:00

II 場 所

独立行政法人医薬品医療機器総合機構6階会議室1～2

III 出席委員(敬称略)

中村 洋(慶應義塾大学大学院経営管理研究科 教授)

松田 憲二(有限会社マツダ・ビジネス・コンサルティング 代表取締役)

橋本 泰次(独立行政法人医薬品医療機器総合機構 監事)

宗岡 徹(独立行政法人医薬品医療機器総合機構 監事(非常勤))

IV 議 事

- (1) 平成20年度の契約「競争性のない随意契約」の点検・見直し
- (2) 平成20年度の契約「一者応札・一者応募」の点検・見直し
- (3) 契約における実質的な競争性確保に関する点検
- (4) 平成21年度末までの調達予定案件(前回随意契約又は一者応札・一者応募となった案件及び新規調達案件)の点検・見直し

V 議事内容

- (1) 平成20年度の契約「競争性のない随意契約」の点検・見直し

事務局から「平成20年度における随意契約の割合及びその内訳」をもとに、PMDAの状況を説明した。更に、契約形態別にとりまとめた「事前点検調書」及び、随意契約によらざるを得ない契約に関しては、「随意契約によらざるを得ない理由」をそれぞれ説明した。

委員からの意見・質問に対する当機構の回答	
意見・質問	回 答
<ul style="list-style-type: none"> ・契約の更新はどのようになっているか。 ・コピー機の契約が、複数である理由は何か。 ・人材派遣の契約業者が、複数である理由は何か。 	<ul style="list-style-type: none"> ・契約した当時は、複数年契約ができなかったが、契約書上、契約期間を自動更新できることを理由に、次年度以降は、随意契約にしたものである。なお、現在は、会計規程を改正し、リース契約については、複数年契約ができることとした。 ・リース期間の満了時期の違いや機構各部の職員の増加に伴うコピー機の需要増加に対応するため、個別に契約したものである。 ・派遣職員の入れ替え時期がバラバラであったため、結果として複数の業者と契約したものである。

(2) 平成20年度の契約「一者応札・一者応募」の点検・見直し

事務局から「平成20年度における一者応札・一者応募の状況及びその内訳」及び「「一者応札・一者応募」に係る改善方策について」をもとに、PMDAの状況を説明した。更に、契約形態別にとりまとめた「事前点検調書」を説明した。

意見・質問	回 答
<ul style="list-style-type: none"> ・電子的データの購入について、契約方式を変更した理由は何か。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成20年度は一般競争入札を実施したが、一者応札であったことから、他に契約の相手方がいないことを確認するため、事前確認型公募を実施したものである。

(3) 契約における実質的な競争性確保に関する点検

事務局から「契約における実質的な競争性確保に関する点検個別調書」について、調達物品の選定や予定価格の算定について説明した。

委員からの意見・質問に対する当機構の回答	
意見・質問	回 答
<ul style="list-style-type: none"> ・落札率が100%に近い理由は何か。 	<ul style="list-style-type: none"> ・予定価格は、前年度の実績価格をもとに算出しており、結果として落札率が100%に近くなったものである。

(4) 平成21年度末までの調達予定案件（前回随意契約又は一者応札・一者応募となった案件及び新規調達案件）の点検・見直し

事務局から平成21年度調達予定案件19件について、「調達予定案件事前点検調書」及び随意契約によらざるを得ない契約に関しては、「随意契約理由書」をそれぞれ説明した。委員から契約方式等に対する改善事項の指摘はなかったが、一者応札は、落札率が高くなりやすいため、価格の妥当性について検証する必要があるとの意見があった。